

## News Release

2020年10月26日

報道資料

**パイオニアの先進安全運転支援システムが  
沖縄県におけるタクシーの安全運転支援と配車司令の実証事業に採用**  
～通信ドライブレコーダーを活用し、運転データなどをもとにAIによるドライバーの事故リスクを算出～

パイオニア株式会社の先進安全運転支援システム「Intelligent Pilot (インテリジェントパイロット)」が、第一交通産業株式会社(本社:北九州市小倉北区、代表取締役社長:田中 亮一郎)および西日本電信電話株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:小林 充佳)が9月下旬より沖縄県内で実施する「ニューノーマル時代における新たな交通サービスの実現に向けた実証事業」の「運転支援システムによる事故低減とタクシードライバーに応じた配車司令に関する実証」のソリューションとして採用されました。

**「ニューノーマル時代における新たな交通サービスの実現に向けた実証事業」について**

<https://www.ntt-west.co.jp/news/2009/200917a.html>

実施時期 : 2020年9月下旬～2021年3月下旬(予定)

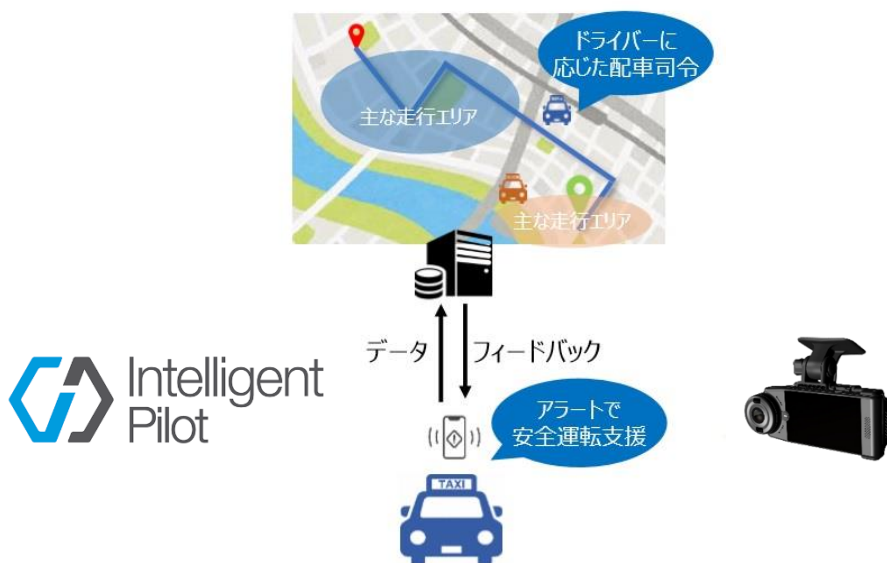
実施場所 : 沖縄県内

実施内容 : 実証1) 運転支援システムによる事故低減とタクシードライバーに応じた配車司令に関する実証  
実証2) 利用者属性に応じた地域回遊レコメンドを行うMaaSサービスに関する実証

**実証事業における当社の役割について**

本実証事業は、デジタルデータの活用による新たな交通サービスの実現を目的としており、「実証1 運転支援システムによる事故低減とタクシードライバーに応じた配車司令に関する実証」におけるデータを蓄積・活用するソリューションとして、当社の先進安全運転支援システム「Intelligent Pilot」が採用されました。

具体的には通信ドライブレコーダーやスマートフォンのアプリケーションを介して、急発進や急ハンドルなどドライバー個々の運転傾向を収集し、道路情報、事故発生地点、渋滞情報、天気などの道路環境データを組み合わせ安全運転についての分析を実施。走行エリアの傾向、危険運転発生状況の可視化や運転スコアリングに加え、事故リスク地点や危険挙動の通知をすることにより、ドライバーごとにパーソナライズした配車司令、安全運転を支援します。



【「Intelligent Pilot」と通信ドライブレコーダーなどを活用した「タクシーの安全運転支援と配車司令実証」イメージ】

## パイオニアの先進安全運転支援システム「Intelligent Pilot」について

パイオニア独自のデジタル地図データと長年収集したプローブデータを活用し、事故多発地点、ヒヤリハットにつながる急減速多発地点などのプローブデータ、天候、運転傾向などから統合的に事故や危険を予測。個々の車両が現在置かれている状況に合わせて注意喚起や警告をする先進的な運転支援システムです。

「Intelligent Pilot」の詳細について：<https://intelligent-pilot.jpn.pioneer/ja/?ad=pr>



時間



天気



デジタル  
地図データ



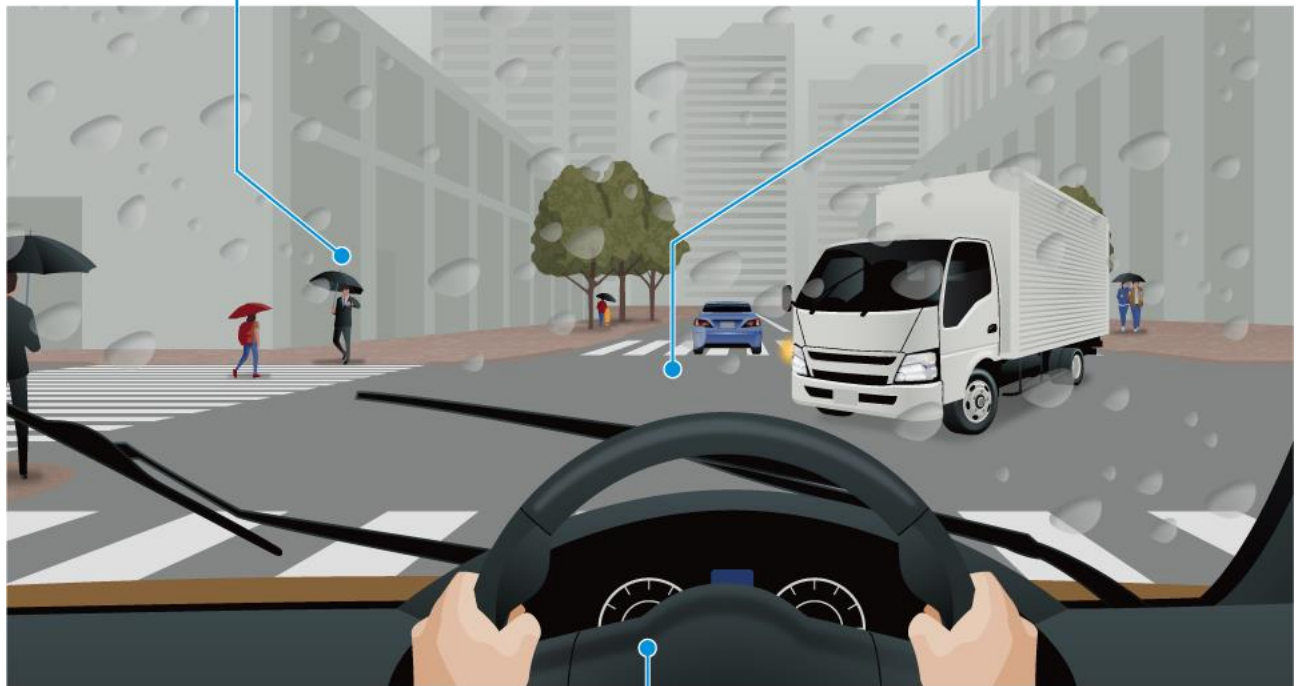
プローブデータ



事故発生地点  
データ

リアルタイムな状況

場所



ドライバーの運転傾向



現在の  
走行速度



加速度データ

【ドライバーごとの事故リスク(時間・天気×場所・地図×運転傾向)を予測する「Intelligent Pilot」】